

アラビアンナイトの国のお持て成し

岩本友則

海外ではしばしば驚きの体験をします。私は、これまでで20か国ほどの国を訪れましたが、おもてなしの心は、日本のみならず何処の国にあるものです。アラビアンナイトの国、イラクで受けたお持て成しについて紹介しましょう。それは、ホテルでの出来事です。

1. 頻繁に起こる停電、如何に暑さに耐えて眠るか

激務の1日を過ごし、ホテル(アルハヤット)に帰り、24時頃に床につきます。しかし、しかし、経済制裁中のイラク、頻繁に起こる停電、エアコンの無い夜30℃後半の気温の中、暑さと疲れ過ぎで眠ることが出来ないのです。言葉が分からないにもかかわらずテレビをつけてしまうのです。バグダッドでは、当時3つのテレビチャンネルが見られました。そして、それらの全てのチャンネルで30分程度に編集されたフセイン大統領を称える同じ番組が、1日に数回放送されます。

暑さに耐えるためのアイデア浮かんだのです。それは、バスタブに水を溜、冷房が切れた時に、この水風呂には入り、身体を拭かないで濡れたまま、ベッドにバスタオルを敷きそのまま蒸発潜熱を利用して、身体を冷やして寝るのです。この方法によりイラクの熱い夜を凌ぐ事が出来ました。

2. 「My heart will go on」

イラクのテレビで唯一理解できる放送がありました。それは、映画「タイタニック」の宣伝であり、セリーヌディオンの歌う映画タイタニックのテーマソング「My heart will go on」です。その歌詞は、「Every night in my dreams I see you, I feel you. That is how I・・・」これは、訳すと「毎夜夢であなたを見、あなたを感じる それこそ・・・」となります。

また、映画タイタニックのクライマックスシーン、それは、タイタニックが海に沈んでいくシーンが映し出されます。実話に基づき沈みゆく船の中で楽団員たちは「Nearer, my God, to thee, nearer to thee・・・日本語では主よみもとに近づかん 賛美歌 320 番」を演奏し船から避難する人達を、見送り自分たちは船とともに沈んでいく・・・。

疲れていても眠れぬ夜、タイタニックのテーマソングや賛美歌 320 番が流れると、家族が思い出されセンチメンタルな気分を襲われるのでした。

3. イラクのお持て成し (美しく飾られた部屋)

夕食を取り、ホテルの部屋に帰るのは夜の10時を過ぎる事が多く、疲れ切って帰る日々でした。そんな中で、心和ませてくれるものがありました。それは、カラフルなモールとバスタオルを上手に使って部屋とベッドへの飾り付けです。下の写真は、ベッドの飾りです。ハート型にするなど、日々工夫されているのです。

私たちの間では、この様な飾り付けをいったいどの様な女性がしてくれるのだろう？ きっとアラブの美しい女性に違いないとか、話がしばらく盛り上がり、期待に胸を膨らませる者も多くいたのです。

そして、ある日、ついにその正体を知る日が来たのです。

それを、行っていたのは、アラブの美しい女性どころか、頭のはげた口ひげを生やしたかなり熟年の男性ではありませんか！これには皆、見てはいけない物を見てしまった・・・であり、大いに落胆したのです。

しかし、これは、生活を支えるためピールチップを少しでも沢山もらおうとする。彼らの涙ぐましい努力だったのです。



続く